



千人が見守る中、表彰を受けるヨコさん

### 国内最高齢の皆川ヨコさん笑顔

● 筑豊地区老人福祉施設連絡協議会特別表彰

**福** 智町在住で、国内最高齢の皆川ヨコさん（上野）113歳が、筑豊・京築地区の老人ホームなどでつくる筑豊地区老人福祉施設連絡協議会から、5月17日に特別表彰を受けました。田川文化センターであった同協議会の交歓大会で賞状を受け取ったヨコさんは「ありがとう」とあいさつ。壇上で大勢の観客に緊張気味でしたが、受賞の感想を聞かれると口元が笑みを浮かべ、とてもご機嫌な様子のヨコさんでした。



5月17日、中央公民館での懇談会

### 町長と語る58回の懇談スタート

● まちづくり懇談会「タウンミーティング」

**浦** 田弘二町長が地域におうかがいし、みなさんとまちづくりについて直接対話するタウンミーティングが、5月15日からスタートしました。5月中に旧赤池町の4会場で開催、行政への関心の高さを感じさせる活発な意見や質問が出されました。今後、旧金田町の16地区、旧方城町の38会場できめ細かく開催されます。なお、現在決まっている日程は最終ページに掲載しています。多数のご参加、お待ちしております。



# 突

発的な集中豪雨、相次ぐ台風、そして火災。また、起こらないと思われていた地震の発生など、近年、町を襲う災害は予想がしづらく、被害も大きいのが特徴です。

そんな緊急時に活動し、最も身近で頼りになるのが町の消防団です。予期せぬ災害に迅速に対応し、町と住民を守るのが消防団の大きな役割。福智町の消防体制は、消防長である町長の管理のもと、旧町から14の分団をそのまま引き継ぎ、消防団本部と本部分団と統合した378人（定員数395）の体制で組織しています。福智町誕生後、速やかに福智町消防団が組織され、初代団長に中村博樹氏が就任。大門巖氏が本部分団長となり、以下の幹部および分団長が下表のとおり組織されました。

また、旧町での長年にわたる消防活動に対し、消防庁長官および財団法人日本消防協会から退職された2人を含む5人が下記のとおり受章されました。

これから梅雨の時期を迎え、特に水害に対する警戒が必要になります。がけ崩れや地滑り、増水などの被害が出る前に、避難経路の確認や家庭での防災に備えておきましょう。

● 福智町総務課 消防防災選考係  
S (S) Onuma

# 消防体制

福智町の防災を担う



中村 博樹 団長



大門 巖 本部分団長

### 功績を讃え 5人が受章



吉田 武人 副団長  
消防庁長官  
功章



藤村 泰久 副団長  
日本消防協会  
精績章



香月 弘美 副団長  
消防庁長官  
永年勤続功章



伊丹 利行 副団長  
消防庁長官  
永年勤続功章



石井 康文 分団長  
消防庁長官  
永年勤続功章

役職・分団名	氏名	住所	旧役職・分団名
団長	中村 博樹	市場	旧赤池町団長
本部分団長	大門 巖	伊方	旧方城町団長
副団長	藤本 利彦	金田	旧金田町副団長
副団長	香月 弘美	弁城	旧方城町副団長
副団長	武末 義輝	上野	旧赤池町副団長
本部分副団長	植田 年昭	伊方	旧方城町副団長
本部分副団長	佃 健治	伊方	旧方城町副団長
第1分団長	高橋 卓己	金田	旧金田町第1分団
第2分団長	中川 幸二	金田	旧金田町第2分団
第3分団長	植高 信春	金田	旧金田町第4分団
第4分団長	丸山米太郎	伊方	旧方城町第1分団
第5分団長	谷口 隆晴	伊方	旧方城町第3分団
第6分団長	勝木美智也	伊方	旧方城町第4分団
第7分団長	吉田 光義	弁城	旧方城町第2分団
第8分団長	坂元九州男	上野	旧赤池町第5分団
第9分団長	松葉 保彦	上野	旧赤池町第1分団
第10分団長	丸林 清輝	上野	旧赤池町第6分団
第11分団長	日高 伸久	市場	旧赤池町第2分団
第12分団長	日野 一夫	赤池	旧赤池町第4分団
第13分団長	伊丹 利行	赤池	旧赤池町第3分団
第14分団長	池長 幸藏	神崎	旧金田町第3分団
本部分団長	石井 康文	金田	旧3町の本部分団

「サイレンが鳴っているけど、いまだどこで火災？」などの確認は田川地区消防組合の火災情報テレフォンセンター ☎42-0119 にお電話ください。正確な情報をいち早く電子音声でお知らせします。

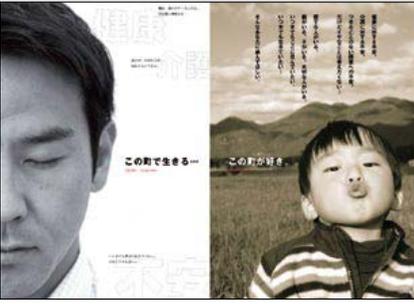
## 福智町に最高賞 日本一の栄誉

● 全国広報コンクール 内閣総理大臣賞決定



皆川ヨコさんが表紙を飾った受賞号

2年ぶり2度目の内閣総理大臣賞受賞が決まった「広報あかいち」



### 目

本広報協会主催の全国広報コンクールの結果が4月27日に公表され、福智町に内閣総理大臣賞受賞が授与されることが決まりました。

全各都道府県のコンクールから選出された450の応募作の中から「広報あかいち」の昨年12月号が、全国で一点だけ選ばれた最高賞を受賞。これで内閣総理大臣賞の受賞は2年ぶり2度目、総務大臣賞を含む広報紙町村部の特選は3度目になります。（ほか全国コンクール入選2回）

受賞号の特集「この町で生きる」は、日本最高齢者で福智町在住の皆川ヨコさんの姿など3人をリポートし、健診、在宅介護、健康寿命の3分野を23ページ（全40ページ）でまとめたものです。お忙しい中にもかかわらず、快く取材に応じてくださったみなさん、本当にありがとうございます。この場をお借りして心からお礼申し上げます。

なお、表彰は9月28日・29日に岡山県倉敷市で開かれる第42回全国広報広聴研究大会で行われ、内閣総理大臣から賞状と銀杯が福智町に授与されます。